

れるGDP

~9月を大幅上方修正 3



LINE決済進化

銀行振り込み可能に 17

日本経済新聞

12月10日
火曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 ☎(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 ☎(06)7639-7111
名古屋支社 ☎(052)243-3311
西部支社 ☎(092)473-3300
札幌支社 ☎(011)281-3211

環境技術で世界に貢献する

月島機械

www.tsk-g.co.jp

日経電子版
https://www.nikkei.com/
新聞購読のお申し込み
https://www.nikkei4946.com/
ご購入・お問い合わせ
☎0120-21-4946(7:00-21:00)
https://support.nikkei.com/

価格が映す日本の停滞

ディズニーマイクやダイソー、世界最安値

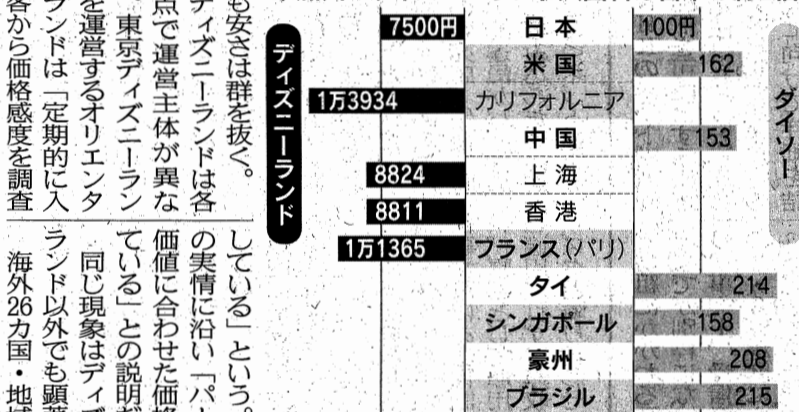
モノやサービスなど日本の価格の安さが鮮明になってきた。世界6都市で展開するディズニーマイクの入場券は日本が最安値で米カリフォルニア州の約半額。100円均一ショップ「ダイソー」のパンコクでの店頭価格は円換算で200円を超す。割安感に訪日客を増やしたが、根底には世界と比べて伸び悩む賃金が物価の低迷を招く負の循環がある。安いニッポンは少しずつ貧しくなっている日本の現実も映す。

伸び悩む賃金負の循環

「日本製の家電や化粧品は安くお買い得」。日本経済新聞は世界の中国から銀座を訪れた李さんは話す。2018年の訪日外国人の旅行消費額は4兆5189億円で13年比で3倍に増えた。

ホテルも割安
海外から見ると日本のモノやサービスの割安さが

米加州のディズニーマイク入園料は日本の約2倍



「安いニッポン」は海外から見ると日本のモノやサービスの割安さが顕著だ。海外26カ国・地域でデータを調査した。日本は「ビッグマック指数」が最も高い。これはハンバーガー価格の安いから為替水準を探る英エコノミスト誌の「ビッグマック指数」。

状況にある」と話す。足元では企業の賃上げが鈍り、働く人の消費意欲が高まらない。その結果、物価低迷が続く。景気も盛り上がりがない「負の循環」(同)が日本の購買力(3面きょうのこと)を落し込ませているからだ。

経済協力開発機構(OECD)などによると、1997年の実質賃金を100とすると、2018年の日本は90・1と減少が続く。海外は米国が116、英国は127・2など増加傾向にある。

大企業は賃金増には慎重。一方、タイでは上昇する賃金や店舗賃料がダイソー製品の価格に転嫁されている。それでも購買力も高まっている同国の中間層の負担感は少ない。安いニッポンには、世界の成長についていけない日本の停滞もにじむ。

仮定すると、ここからはじき出す為替レートは1ドル67・94円となる。ただ、実際のレートは1ドル110円前後で30%強円安だ。その分円を保持するに当たってはドルで売られるビッグマックが高感じられる。

ディズニーマイクやダイソーの価格も同様に指数化して実際のレートと比べると対米ドルやタイバツで46・50%強の円安となり割高感が増す。

だが第一生命経済研究所の永浜利広首席エコノミストは「今の価格差は為替では説明がつかない」と話す。